

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-IV-6

4-IV-6

| | | | |
|----------|--------------------------|--|--|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | 取組項目 | 来訪者と地域住民との交流促進 |
| | 節 IV ホスピタリティの醸成 | | |
| 事業(施策)名 | 6 地域と来訪者の交流促進 | 事業主体 | 佐渡市地域振興課 |
| | | 関連団体 | 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会 |
| 事業実施期間 | H28～R4 | | |
| 事業概要 | 【事業目的】 | ○来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。 | |
| | 【事業内容】 | ○祭り等地域行事に来訪者が気軽に参加できるよう、地域の受入体制を整備する。 | |
| 元事業計画と実績 | 【元年度計画】 | <ul style="list-style-type: none"> ●域学連携地域づくり応援事業 地域の活力を再生するため、大学等が地域と連携し市の施策推進の後押しとなる長期的な活動に対し、島内二次交通費等相当額の負担を支援する。 大学生等を活用した地域課題の解決や地域活性化につなげる効果的・継続的な取り組みの一環として、地域から外部人材を活用して行う地域活性化策の提案をいただき、重点支援地域を選定し外部人材支援のマッチングを図る。 | |
| | 【元年度実績】 | <ul style="list-style-type: none"> ●重点支援地域の数:6地域 ●本事業により連携した地域の数:22地域 ●参加者数(受入数):216人 | |
| 課題・今後の取組 | 【課題】 | <ul style="list-style-type: none"> ■過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域コミュニティの弱体化を克服するため、外部人材の活用と併せて、地域の中から地域活性化を担う人材を育成することも必要である。 | |
| | 【今後の取組】 | <ul style="list-style-type: none"> ■継続的な地域活動を行う学生への負担軽減を図り、長期滞在を促進しながらエリアの特性を活かした地域づくりを推進する。 | |
| 事業評価 | 【事業の達成度】 | ◇当初計画どおり事業を実施したことからBとする。 | |
| | 【事業実施の効果】 | [a (b) c] | |
| | 【総合評価】 | [A (B) C] | |

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。